

# 根室港

## 根室市水産経済部港湾課

〒087-8711 根室市常盤町2丁目27番地

☎0153-23-6111(代)

## 1. 概況

根室港は、北海道最東の地、納沙布岬を有する根室半島の基部に位置し、オホーツク海側の根室地区と太平洋側の花咲港区からとなる。

根室の地名は、アイヌ語の「ニムオロ」(樹木の繁茂するところ)に由来する。

本港は、人口2万6千人を有する根室市を直背後圏としてこの地域で営まれる消費、生産等の諸活動に要する物資取扱いを担う港湾として、根室市を中心とする経済圏に大きな役割を果たしている。本港の歴史において根室港区は、宝暦4年瑤瑠海峡の航路を開き根室に運上屋を置いたことに始まる。

戦前は、オホーツク沿岸、あるいは千島、歯舞諸島との交流、また、軍用施設等の充実により港湾は進展の一途をたどり、本土最東端の要港としての重要な位置を占めて来たが、戦後においては漁船漁業の基地としての位置づけにとどまっている。

一方、花咲港区は根室港区と同様昭和28年に地方港湾としての指定を受け、冬期間流水の影響により港湾機能停止の余儀ない根室港区の補完港として、昭和10年頃より港湾整備が進められ、戦後における北洋漁業の最前線基地として親港である根室港区を上回る整備が進められているところである。

昭和53年4月にはそれまで地方港湾である根室港及び花咲港を一体化し、重要港湾「根室港」として指定を受け、以来、着実に港湾の整備が進められている。

近年では、国内はもとより北方圏諸国との文化・経済交流などの深い結び付きにより、ますます発展することが期待されている。このため、本港には、根室地域における流通拠点としての機能の一層の充実と産業基盤の拡充により、背後地域の活性化に先導的役割を果たすことが使命とされている。

### 〈港湾整備の将来計画〉

根室港の港湾整備にあたっては、次のような将来計画により整備を進める。

- (1)根室地域を背後圏とする流通拠点として、道東圏港湾との機能分担を図りつつ、花咲港区の東地区において、外貿・内貿物流機能を強化する。
- (2)港湾における快適な港湾環境の創造を図るとともに、親しまれる港づくりを推進するため、根室港南地区において、マリーナを核とした交流・レクリエーション基地を整備する。
- (3)クルージング需要の増大及び北方圏交流の推進に対処する



(上・根室港区、下・花咲港区)

- とともに、旅客輸送の利便性の向上を図るため、花咲港区西地区及び根室港区南地区において、旅客船埠頭を整備する。
- (4)漁船の係留施設の不足を解消するため、根室港区北地区及び花咲港区西地区において大型漁船に対応した係留施設、根室港区南地区において小型船だまりを整備する。
  - (5)港湾と背後地域との円滑な連絡を図るとともに、港湾内の円滑な交通を確保するため、臨港交通体系の充実を図る。
  - (6)港湾における諸活動の安全を確保するため根室港区、花咲港区において、外郭施設を整備する。
  - (7)大規模地震災害に対処するため、根室港区北地区及び花咲港区西地区において、緊急避難及び緊急物資輸送のための耐震性の強い港湾施設を整備する。